

発達障害のある子どもと家族を支援するための地域支援体制づくり

— Q-SACCSを使った地域診断 —

支援に携わる様々な職種の人にとって、自分が包括的な支援体制の中でどのような位置づけで仕事をしているのか、連携をとる他職種にはどのような人たちがいるのか、誰から引継ぎを受け、誰に引き継いでいくのかなど、支援をシステムとして捉えるためには、働いている地域の支援体制を理解しておくことが重要です。各自治体で発達障害のある子どもと家族に関わる支援者、そして行政担当者は、各地域の支援体制について定期的に点検し、体制が整備されている部分、課題が残る部分について把握しておく必要があります。

～Q-SACCSを使った地域診断マニュアルのはじめにより抜粋～

Q-SACCSを用いるメリット

自治体ですでに達成できていることと残っている課題がわかる

支援者が自分の地域の支援体制を把握し、連携すべき他職種がわかる

Q-SACCSの活用相場

自立支援協議会など地域の課題を協議する場

Q-SACCSを活用した地域診断の内容

研修内容はマニュアル化されて、ホームページ（QRコード）で公開されています
発達障害者地域支援マネジャーが講師をつとめます



お申し込み・お問い合わせ

研修をお考えの自治体や自立支援協議会の方は発達障害者地域支援マネジャー田熊（たくま）までご連絡ください
電話：04-7165-2515 FAX：04-7165-2516



地域の体制整備の
点検として！